

第3回定例会で
質問しました

狛江団地建替え問題前進 「遠くへ移転困難な高齢、障がい者は狛江団地空き室へ」 都「空き室調査・検討」と答弁



日本共産党
よっちゃん通信
2025/9/10 273号

9月5日第3回定例会で、私
宮坂良子は「狛江団地建替え問
題」安心して移転できるよう支
援を」と求めました。

狛江団地の建替えは、約20年
間かけ5期に分けて工事を行な
います。第1期の居住者は25年
度中に移転が迫られています。
住民の方への説明会が8月22、
23日に開催され250世帯中2
00世帯が参加しました。

私はこれまで住民の方から寄
せられていた切実な要望を次の
ように市に求めました。

1、**高齢、障がいでも遠くに移転で
きない方は**

狛江団地の空き室に入居を

8月25日、私は居住者の方々
と都へ要請したところ、西部住宅
建設事務所の方は「空き室への入
居を検討し、空き室を調査した
い」と答えてくれました。**大きな
前進です。**

私は、確実に実現するため
も市からも要請してほしいと求
めました。

市は「東京都に伝える」と答え
ました。

2、**移転料17万1千円を増額して**
「荷作りが出来ない、エレベータ
ーがなく粗大ごみが下ろせない」な
どで事業者に依頼すると、移転料
が高くなります。17万1千円は2
004年から同じです。物価も上
がり続けているとして増額を求め
ました。

市は「通常の転移に必要な額が
支払われていると考えている」と答
弁しました。

3、**生活困窮者には**

転居料の前払いを

移転料は1カ月後の後払いとな
っているの、一旦立替えなくては
なりません。

共産党・尾崎あや子都議は24年
3月都市整備委員会「生活困窮
で必要と認められる場合は前払い
が出来る」という答弁を引き出して
いたことを紹介しながら、生活が大
変な方は立替えは困難、市からも
前払いを求めてと要望しました。

市は、移転料の前払いについては
「東京都に伝え
る」と答えまし
た。

引続き居住者
のみなさんの切
実な要望実現
に向けがんばり
ます。



東京都へ居住者の方
と要請（8/25）